

単元名

書き手のくふうを読み取ろう！  
「ほけんだより」を読みくらべよう（東京書籍 3年）

令和2年 7月16日（木）  
第3学年1組  
男子19人 女子19人 計38人

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力

1 単元のデザイン

【本単元の目標】

<知識及び技能> 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。  
【（2）情報の扱い方に関する事項 ア 情報と情報との関係】  
<思考力，判断力，表現力等> 段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えること。  
【読むこと ア 構造と内容の把握】  
<主体的に学習に取り組む態度> 二つの文章を繰り返し読み，事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけ，書き手の意図を読み取ろうとしている。

単元観	児童観											
<p>小学校学習指導要領解説 国語編 C読むこと</p> <p>ア段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えること。</p> <p>言語活動</p> <p>ア自分の考えと，それを支える理由や事例としての事実との関係を明確にして書くこと。</p> <p>本単元のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み比べることを通して書き手の意図に応じた事柄の取り上げ方や説明の仕方に違いがあることを読み取ること。</li> </ul>	<p>【国語科の学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書習慣が身に付いており，音読も進んで取り組むことができる。</li> <li>6月に学習した同系統の単元「自然のかくし絵」では，段落ごとの内容をとらえながら文章を読むことを学んでいる。</li> <li>単元末テストの平均点は，90.9点で内容の中心となる語や文に着目して文章を読むことができていると言える。</li> <li>話の内容を具体的に説明するために挙げられた事柄や内容を理解することはできてきている。</li> <li>話の文章の全体を大づかみに捉えることはできるようになってきているが，中心を把握し，情報と情報との関係について理解することにはまだ課題がある。</li> </ul>	<p>○準備テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①②「虫を食べる植物」説明文</li> <li>③「音楽発表会のポスター」</li> <li>④「ホットケーキの作り方」</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>正答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①大事なことを落とさずに読み取る</td> <td>94.8%</td> </tr> <tr> <td>②お話の大体をつかむ</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>③2枚のポスターを比較し，説明の違いを読み取る</td> <td>79.4%</td> </tr> <tr> <td>④文章と絵から内容を読み取る</td> <td>86.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○③の結果から，テキストを読み比べ，書き手の意図や目的に応じた表現の工夫を読み取る力に課題がある。</p> <p>○本文のキーワードに線を引きながら読むことができている児童は44.7%。</p> <p>○主語と述語の関係や文章の構成に関する理解について課題がある児童が対象児童を含め2名いる。</p>	内容	正答率	①大事なことを落とさずに読み取る	94.8%	②お話の大体をつかむ	97.4%	③2枚のポスターを比較し，説明の違いを読み取る	79.4%	④文章と絵から内容を読み取る	86.8%
内容	正答率											
①大事なことを落とさずに読み取る	94.8%											
②お話の大体をつかむ	97.4%											
③2枚のポスターを比較し，説明の違いを読み取る	79.4%											
④文章と絵から内容を読み取る	86.8%											
<p>本単元で育みたい資質・能力</p> <p>図表等が含まれた実生活のテキストを読み，事実と意見との関係を捉え，書き手の工夫について読み比べて考えたことを表現する力。</p>												

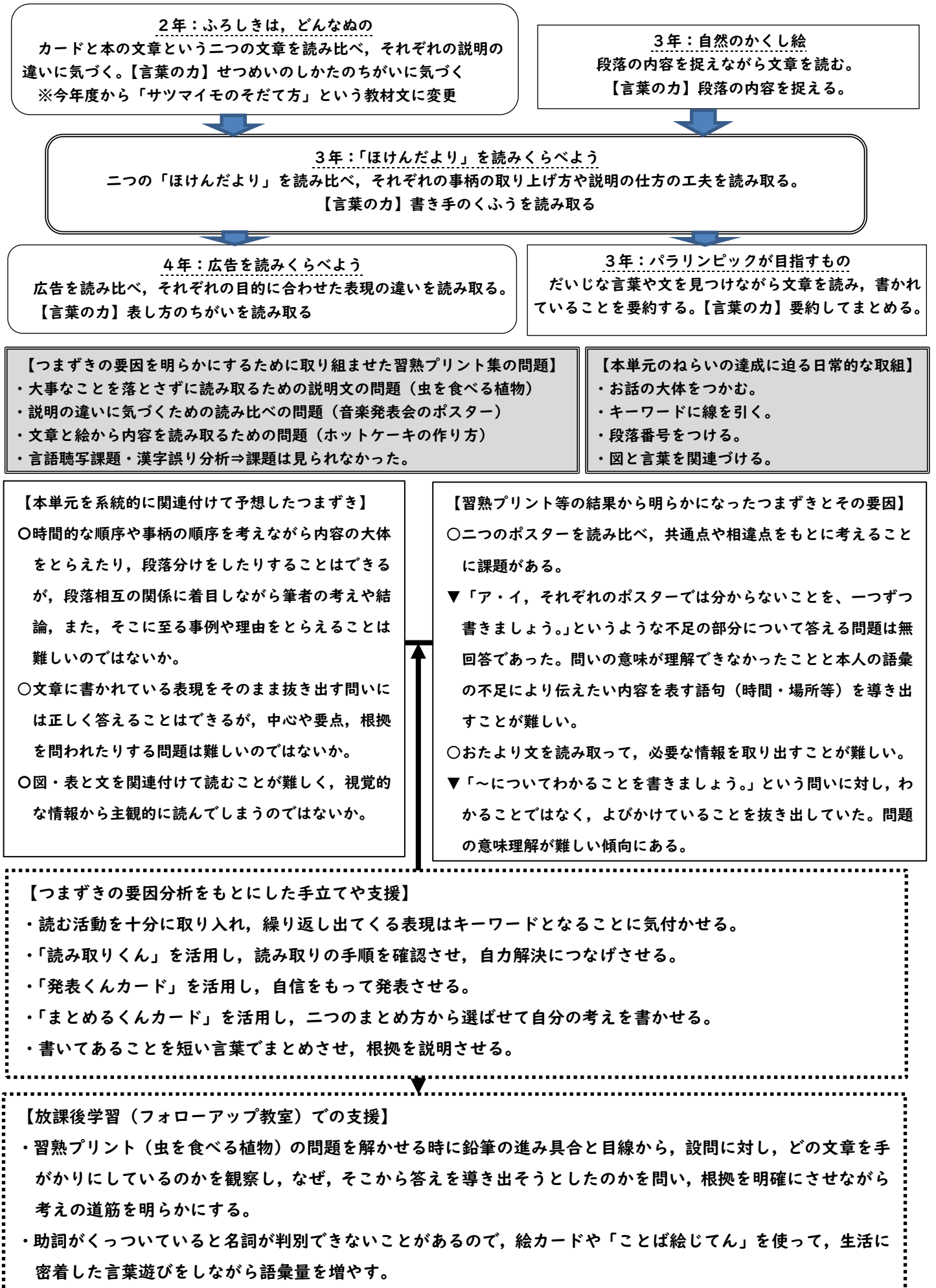
指導観（◎ICTについて）

- 「課題の設定」の場面では，児童が学校生活で出合ってきたさまざまな「たより」を電子黒板で掲示し，視覚支援を取り入れながら教材に対する興味を持たせる。
- 本単元の学習内容を知った養護教諭の宇山先生のお願いを知らせ，学習したことをまとめ，宇山先生に読んでもらうというゴールを設定し，本単元を学習する学びの必然性をもたせる。
- 「情報の収集」「整理・分析」では，教材文「朝食の大切さ」について書かれた二つのほけんだよりを読み比べる。
  - ・まずは，読み比べるための観点を理解するために，既習事項を活用し，形式段落に番号を付け，はじめ・中・おわりの段落相互の関係に注意して文章の構成を捉える。
  - ・次に，二つのほけんだよりは，誰に，何のために書いたのかという相手意識や目的意識を明確にする。それらをもとに，中心となる語や文に線を引き，共通点や相違点を確かめ，取り上げられている事柄や説明の仕方の工夫の違いを手がかりにしながら，書き手が伝えたいことを読み取っていく。
- ◎既習事項の確認や問題提示の場面では，電子黒板を活用し，問題場面の把握や問題解決への意欲を高めさせる。
- ◎電子黒板や書画カメラを効果的に活用し，自分の考えについて根拠を明確にしながらわかりやすく表現させたり，友達の考えとの共通点や相違点を捉えさせたりする。

## 2 単元の系統性から見たつまずきの要因分析とその手立てについて

説明文「表現の工夫・読み比べ」系統

学びのつながり (読むこと：説明文)



### 3 単元の評価規準

国語科	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等 読むこと	主体的に学習に取り組む態度
	(ア) 自分の考えと、それを支える理由や事例としての事実との関係を明確にして書くこと。		
	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア)	・段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えている。 (C(1)ア)	・二つの文章を繰り返し読み、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけ、書き手の意図を読み取ろうとしている。

### 4 教科の指導事項との関連

#### 第3学年 国語科 (C 読むこと：ア 構造と内容の把握)

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などとの關係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。	ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。

### 5 指導と評価の計画 (国語 全8時間)

次	時	学習活動	評価			児童の思考のプロセス	
			知	思	態		
単元前		課題の設定 ・総合的な学習の時間「まちのすてきを見つけ隊」 ・保健「毎日の生活とけんこう」					
第一次	1	課題の設定 (国語科) ・学習のゴールイメージをもち、単元のめあてを設定するとともに学習の見通しを立てる。			○	○宇山先生に学んだことを伝えるという単元のゴールを理解し、見通しをもって学ぼうとしている。 (発言・ノート)	「読み比べる」っておもしろそうだな！読み比べるときに大切なことを知りたいな。
	2	情報の収集 ・二つの文章の共通点について話し合い、書き手の考えと文章の構成をつかむ。			○	○二つの文章から、同じことが書かれているところを取り出すことを通して、書き手の主張や文の組み立てについて理解している。 (発言・ノート)	「自然のかくし絵」の学習を生かして、はじめ・中・おわりを見つけることができたよ。同じところを見つけると書き手の伝えたいことが分かるよ。
	3	情報の収集 ・二つの文章の相違点について話し合い、取り上げられている事柄や書き手の意図の違いを読み取る。			○	○二つの文章のちがいを読み取るために段落と段落のつながりや繰り返し出てくる言葉に目を向けながら書き手の意図を読み取っている。 (発言・ノート)	二段落に目を向けて、何回も出てくる言葉を見つけると大森先生の伝えたいことが分かったよ。
	4	整理・分析 ・二つの文章と図表との関係を読み取る。			○	○図表と文章の關係に着目し、図表の効果を考えながら、文章に書かれている事柄を読み取っている。 (発言・ノート)	図があることで分かりやすくなるね。表の数字は「なるほど！」って思えるね。
	5	情報の収集・整理分析 ・二つの文章と「みなさんへのアドバイス」との關係をつかむ。			○	○二つの文章の「みなさんへのアドバイス」を入れ替え、どのような役割を果たしているのかを理解している。 (発言・ノート)	二つとも朝ごはんの大切さについての文章だけど、「みなさんへのアドバイス」に書かれていることってちがっていたね。
	6	まとめ・創造・表現 ・文章の工夫をまとめ、事例や理由を明確にして自分の考えを書く。			○	○書き手の考えと文章の工夫、読み手のことを考えながら書くことを理解している。 (カード・発表)	ぼくは一つ目の文章を選びました。理由は、お家の人が読んだときに、朝ごはんのメニューをもっと工夫しようと思うきっかけになると思ったからです。
	7	振り返り ・互いの文章を読み合い、一人一人の感じ方の違いに気づく。 ・学習の振り返りをする。			○	○二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方に違いがあることに気付いている。 (カード・発言)	二つの文章を読み比べるって楽しいな。いろいろな文章を読んだり書いたりするときに使えるな。
第三次	8	振り返り ・互いの文章を読み合い、一人一人の感じ方の違いに気づく。 ・学習の振り返りをする。			○	○二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方に違いがあることに気付いている。 (カード・発言)	二つの文章を読み比べるって楽しいな。いろいろな文章を読んだり書いたりするときに使えるな。
 目指す児童のゴールイメージ			・読み比べて楽しいな。伝えたいことは同じでも書かれている事柄や説明の仕方がちがうことを読み取ることができたよ。書いた人の伝えたいことは何かを考えていろいろな文章を読んでいきたいな！				
単元後		まとめ・創造・表現 ・「まちのすてきを見つけ隊」 ・学級活動「夏休みの生活」					








### 6 本時の目標

二つの文章の相違点について話し合い、取り上げられている事柄や書き手の意図の違いを読み取る。(思考・判断・表現 読むこと (1) ア)
--

7 本時の展開

	学習活動（時間）	<p>◇指導上の留意点 ・予想される児童の反応</p> <p>◆主体的な学びを促す教師の手立て FU対象児童への教師の手立て</p>	評価規準 (評価方法)
課題の設定	1 これまでの学習をもとに、本時のめあてを確認する。(5分)	<p>◇あいさつの後、起立して音読させ、全文を読んだら着席し、黙読させる。</p> <p>◇掲示した学習計画をもとに、本時の学びを確認し、共有する。</p> <p>㊦読みくらのコツを見つけることができる。</p>	
情報の収集	2 Aの文章を一斉で音読する。(3分)	<p>◇ほけんだよりの拡大コピーを提示し、今、どこを音読しているのかがわかるよう、文章を指し示すことができるようにする。</p> <p>㊦語のまとまりや区切りがわかるように「分かち書き」をしたプリントを準備する。</p>	
整理・分析	3 キーワードの見つけ方をAの文章で確認する。(8分)	<p>◇キーワードを見つけるコツを確認する。</p> <p>◇全体でAの文章のキーワードを見つけ、見つけたキーワードに線を引かせる。</p> <p>㊦繰り返し出てくる言葉に着目させる。</p> <p>◆発表した内容を叙述と関連付けながら拡大コピーにまとめる。</p> <p>◆「読み比べくん」を使って、キーワードを整理してまとめさせる。</p> <p>◆Aの学びを生かしながら、個人で取り組ませる。</p>	
まとめ	4 Bの文章のキーワードを見つける。(5分)	<p>㊦既習事項の掲示物をもとに、自力解決への見通しをもてるようにしておく。</p>	
まとめ	5 見つけたキーワードを全体で交流する。(6分)	<p>◆Aの文章のキーワードと比較できるように視覚的に板書しながら、テンポよく進める。</p> <p>Aの文章で取り上げられていることがら：朝ごはん、エネルギー、体温、元気、体 Bの文章で取り上げられていることがら：朝ごはん、だるさ、食べた、食べなかった</p>	
まとめ	6 取り上げられている事柄と書き手の意図との関係について考える。(5分)	<p>◇「読み比べくん」を使って、それぞれの取り上げられている事柄を比較させながら書き手の意図をまとめさせる。</p> <p>㊦文型を提示し、安心して自分の考えを書くことができるようにする。</p>	【思・判・表】 ・二つの文章のちがいを読み取るために段落と段落のつながりや繰り返し出てくる言葉に目を向けながら書き手の意図を読み取っている。(発言・ワークシート)
振り返り	7 書き手の意図を全体で交流する。(8分)	<p>◇個人で考えた後、全体で意見を交流させる。</p> <p>㊦話型を提示し、安心して自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>◇友達のことを聞き、自分の学びを深めさせる。</p> <p>Aの文章で伝えたいこと：「朝ごはんは元気に生活するために大切なもの」 Bの文章で伝えたいこと：「朝ごはんを食べないと元気がなくなったり、だるさを感じたりすることがある」</p>	
振り返り	8 本時の学びをまとめ、振り返る。(5分)	<p>◆読み取った内容とそのための方法をまとめる。</p> <p>㊦読み比べのコツ⇒「ちがい」に着目する！ 着目する段落を見つける：書かれていることのちがいから考える キーワードを見つける：くり返し出てくる言葉をさがす 書き手の意図を読み取る：キーワードのちがいから考える</p> <p>大森先生は、朝ごはんをしっかりと食べてほしいからほけんだよりをつくりました。ねがいは同じだけど、キーワードや伝えたいことがちがっていて、おもしろいなと思いました。</p>	

8 学習活動4, 6で想定したつまずきとその解消のために取り入れた手立てや支援について

<p style="text-align: center;"><b>問題</b></p> <p style="text-align: center;">★想定したつまずき</p>	<p style="text-align: center;"> FU対象児童への手立て</p>	<p style="text-align: center;">期待する児童の反応</p>
<p>学習活動4</p> <p>Bの文章のキーワードを見つける。</p> <p>★キーワードが見つけれない。</p> <p>★長々、文章に線を引いてしまう。</p>	<p> 分かち書きのプリントをもとに1つ1つの言葉のまとまりに着目できるようにする。</p> <p> 「キーワード見つけカード」を使って考えさせる。</p>	<p>○言葉の切れ目が分かって、キーワードが見つけやすいよ!</p> <p>○「キーワード見つけカード」を使うと、大事な言葉だけに着目できたよ。</p>
<p>学習活動6</p> <p>取り上げられている事柄と書き手の意図との関係について考える。</p> <p>★段落を意識できない。</p> <p>★書き出しで止まってしまう。</p> <p>★文章にねじれが生じている。</p> <p>★文章が長い。</p> <p>★促音の表記を間違える。</p>	<p> ワークシートに1マス開けるマークを書き入れる。</p> <p> 「まとめるくんチャート」を使ってキーワードをおさえながら、構成と意味を理解し、文章化でつなげさせる。</p> <p> 「けずる作戦」で、文章の見直しをさせる。</p> <p> 促音に印をつけて視覚的に捉えさせる。</p>	<p>○一番上のマスをきちんとあけて書けたよ。全部消さなくていいのでうれしいな。</p> <p>○「まとめるくんチャート」を使うと、クイズみたいに楽しく文章が書けたよ。</p> <p>○「けずる作戦」は、あらすじを書いた時にも使ったけど、文章を短くするのに便利だね。</p>